

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

プログラム／抄録

代議員総会・会員総会・評議員会	P.27	—
第21回日本エイズ学会学会賞 (シミック賞) 受賞講演	P.27	—
プレナリーセッション	P.28	P.97
会長講演	P.28	P.98
特別シンポジウム	P.29	P.99
日本性感感染症学会と 日本エイズ学会の合同シンポジウム	P.30	P.101
シンポジウム「治療の手引き」	P.31	P.106
シンポジウム	P.32	P.112
国際シンポジウム	P.38	P.158
ポジティブトークセッション	P.39	P.159
メモリアルサービス	P.39	P.160
日本エイズ学会認定講習会(医師)	P.40	P.161
日本エイズ学会認定講習会(看護師)	P.40	P.165
アドバンスト研修	P.41	P.166
HIV感染症薬物療法認定・ 専門薬剤師認定講習会	P.41	P.167
市民公開講座	P.42	P.172
共催シンポジウム	P.43	P.173
ランチョンセミナー	P.49	P.188

■日時：11月29日（金） 12:50～13:50

■会場：第1会場（5F エミネンス）

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC奨励賞の授賞式ならびにECC奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

第21回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：11月29日（金） 13:50～14:05

■会場：第1会場（5F エミネンス）

第21回
日本エイズ学会学会賞
（シミック賞）受賞講演

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター／日本エイズ学会理事長）

プレナリーセッション

■日時：11月29日（金） 10:30 ～ 11:30

■会場：第1会場（5F エミネンス）

プレナリー セッション

座長 岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta）
田沼順子（国際医療福祉大学医学部）

■演者：

PS

Let Communities Lead: Understanding community partnership and leadership towards ending HIV

Nittaya Phanuphak

Institute of HIV Research and Innovation (IHRI)

会長講演

■日時：11月29日（金） 14:05 ～ 14:20

■会場：第1会場（5F エミネンス）

会長講演

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター / 日本エイズ学会理事長）

■演者：

CH

エイズ予防とコミュニティエンパワメントの重要性：これまでとこれから

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

特別シンポジウム

■日時：11月28日（木） 13:30～15:30

■会場：第1会場（5F エミネンス）

特別 シンポジウム 1 （社・S）

3つの0の達成のために
オーストラリアのエイズ予防啓発
の現在の活動から、日本のこれか
らの予防、啓発を考える

座長

今村顕史（都立駒込病院感染症科）
金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

■メインスピーカー：

SPSY1-1 荒木裕人
厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部
感染症対策課

SPSY1-2 青木 大
ACON HEALTH

SPSY1-3 町登志雄
公益財団法人エイズ予防財団

SPSY1-4 木南拓也
特定非営利活動法人 akta

■コメンテーター：

舩石翔馬
福岡コミュニティセンター HACO

福正大輔
認定特定非営利活動法人ぶれいす東京

宮階真紀
SWASH/MASH 大阪

Li Chunyan
Tokyo College, The University of Tokyo

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：11月30日（土） 8:20～9:50

■会場：第1会場（5F エミネンス）

特別 シンポジウム 2 （臨・C / 基・B / 社・S）

ラパトア：各分野の最新知見

座長

南 留美（国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター）
本間隆之（山梨県立大学看護学部）

■演者：

SPSY2-1 松岡佐織
国立感染症研究所エイズ研究センター

SPSY2-2 村松 崇
東京医科大学病院臨床検査医学科

SPSY2-3 原田恵嘉
国立感染症研究所エイズ研究センター

SPSY2-4 金子典代
名古屋市立大学大学院看護学研究科

日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム

■日時：11月28日（木） 8:30 ～ 10:00

■会場：第1会場（5F エミネンス）

日本性感染症学会と 日本エイズ学会の 合同シンポジウム (臨・C)	HIV PrEP とドキシサイクリン PEP	座長 岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター / 国立療養所多磨全生園）
--	---------------------------	--

■演者：

JS-1	HIV PrEP のエビデンスとガイドライン 水島大輔 国立国際医療研究センター	JS-3	東京での HIV-PrEP、ドキシサイクリン-PEP の実際 塩尻大輔 パーソナルヘルスクリニック
JS-2	ドキシサイクリン PEP のエビデンスと適正使用 谷口俊文 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科	JS-4	関西での HIV-PrEP、ドキシサイクリン-PEP の実際～ HIV/STI における検査・治療・予防・情報提供の分離解消を目指して～ 石内崇勝 一般社団法人天照会いだてんクリニック

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：11月30日（土） 13:40～15:40

■会場：第1会場（5F エミネンス）

シンポジウム 「治療の手引き」 （臨・C）		満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
		白阪琢磨（公益財団法人エイズ予防財団 / 国立病院機構大阪医療センター）
	座長	岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター / 国立療養所多磨全生園）
		瀧永博之（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者：

TR1-1	はじめに 満屋裕明 国立国際医療研究センター研究所	TR1-5	HIV/AIDS 診療現場で注意すべき代 謝性疾患とその対策 照屋勝治 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン ター
TR1-2	What's New? 瀧永博之 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン ター	TR1-6	Long-acting injectable/2 剤療法の real-life データ 安達英輔 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
TR1-3	LGBTQ+ における感染症とライフス タイル：健康格差とスティグマの視 点から 池袋 真 パーソナルヘルスクリニック / 熊本大学ヒトレトロウィルス学共同研究センター	TR1-7	ZERO transmission in Japan by 2030 白阪琢磨 公益財団法人エイズ予防財団 / 国立病院機構大阪医療 センター
TR1-4	STD への対応；最近の動き 安藤尚克 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン ター	TR1-8	終わりに 岡 慎一 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン ター / 国立療養所多磨全生園

シンポジウム

■日時：11月28日（木） 8:30 ～ 10:00

■会場：第2会場（4F 錦）

シンポジウム 1 （社・S）

HIVとともに生きる人はどこまで
強くならなければならないのか？

座長

戸ヶ里泰典（放送大学）
牧原信也（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

■演者：

SY1-1 人はどこまで人を強くしたがるのか
ーエンパワメント再考ー

井上洋士

株式会社アクセライト / 埼玉大学 / 放送大学 /
HIV Futures Japan プロジェクト

SY1-2 傷つきとレジリエンスの生活史 /
オーラルヒストリー

大島 岳

明治大学情報コミュニケーション学部

SY1-3 今日まで生きてきた薬害 HIV 感染被
害者ー強くなるべきは周囲ー

柿沼章子

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY1-4 心理士として陽性者の「強さ」「弱さ」
をどう理解して関わるか

安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

■指定発言者：

灰 来人

notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会 /
認定 NPO 法人魅惑の倶楽部福岡コミュニティーセン
ター HACO

加藤力也

特定非営利活動法人ぶれいす東京

喜多見洋子

はばたき福祉事業団

■日時：11月28日（木） 8:30 ～ 10:00

■会場：第3会場（4F 扇）

シンポジウム 2 （臨・C）

女性のPLHIVの健康を考える

座長

関谷綾子（がん感染症センター都立駒込病院感
染症科 / 東京医科大学臨床検査医学
分野）
今橋真弓（名古屋医療センター臨床研究センター
感染・免疫研究部）

■演者：

SY2-1 当院における女性 PLHIV の現状につ
いて

今橋真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

SY2-2 F-PLHIV になってからの人生と気持
ちの変化

ようこ

ぶれいす東京

SY2-3 日本における HIV 母子感染ー過去・現
在・未来から女性の PLHIV を考えるー

吉野直人

岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分
野

SY2-4 近年の HIV 感染妊娠に関する問題点

杉浦 敦

武蔵野赤十字病院産婦人科

SY2-5 Gender differences からみた代謝疾
患などについて

関谷綾子

がん感染症センター都立駒込病院感染症科 /
東京医科大学臨床検査医学分野

シンポジウム

■日時：11月28日（木） 10:10～11:40

■会場：第2会場（4F 錦）

シンポジウム 3 （社・S）

“生きていたい”を支える支援と
社会を目指して
～HIV陽性者の自殺とメンタルヘルスを考える～

座長

小松賢亮（和光大学 / 慶應義塾大学病院）
岡本 学（独立行政法人国立病院機構大阪医療
センター医療福祉相談室・HIV 地域
医療支援室）

■演者：

SY3-1 HIV 陽性者における自殺念慮・企図
の実態と心理社会的要因
—Futures Japan 全国調査より
戸ヶ里泰典
放送大学

SY3-3 地域 NGO における相談・支援現場
で感じる難しさについて

生島 嗣
認定 NPO 法人ぶれいす東京

SY3-2 医療機関における希死念慮・自殺企図
安尾利彦
国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

SY3-4 自殺予防の基礎知識
川島義高

明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻

■日時：11月28日（木） 10:10～11:50

■会場：第3会場（4F 扇）

シンポジウム 4 （臨・C）

患者報告アウトカム (PRO) がもた
らす新たな医療と社会

座長

山口拓洋（東北大学大学院医学系研究科 / 東北
大学病院臨床試験データセンター）
高久陽介（NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワ
ーク・ジャンププラス）

■演者：

SY4-1 本邦における患者報告アウトカム
（PRO）の現状と留意点 - PRO の選
択・収集・評価
川口 崇
東京薬科大学臨床評価学教室 /
東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野

SY4-3 HIV 陽性者への ePRO の臨床応用か
らみえてきたもの

吉野友祐
帝京大学医学部微生物学講座

SY4-2 臨床研究からみえてきた HIV 陽性者
への ePRO の活用
関根祐介
東京医科大学病院薬剤部

SY4-4 患者報告アウトカム (PRO) がもたら
す新たな社会のメリットと問題点

高久陽介
NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププ
ラス

シンポジウム

■日時：11月28日（木） 10:10～12:10

■会場：第4会場（4F 花A）

シンポジウム 5 （基・B）	What's Unknown - 足らざるを知る -	座長 宮内浩典（国立研究開発法人理化学研究所生命 医科学研究センター感染免疫研究 チーム） 原田恵嘉（国立感染症研究所エイズ研究セン ター）
-------------------	-------------------------------	---

■演者：

SY5-1 基礎研究からのアプローチ
～ Treat all policy の次に向けて
上野貴将
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

SY5-2 HIV 感染症の生体レベル攻防戦：
免疫オーバーキル vs 宿主応答の連鎖
山本浩之
国立感染症研究所エイズ研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：11月28日（木） 15:40～17:10

■会場：第1会場（5F エミネンス）

シンポジウム 6 （社・S）	セックスワーカーの多様性と多言 語対応を踏まえた予防啓発	座長 塩野徳史（大阪青山大学 /MASH 大阪） 宮田りりい（関西大学人権問題研究室）
-------------------	---------------------------------	---

■演者：

SY6-1 豊橋市保健所で実施した MSM と
SW についての勉強会について
高木慎介
豊橋市保健所保健医療企画課感染症グループ

SY6-2 外国人セックスワーカーのネット
ワークを利用した予防啓発の可能性：
パリと東京の事例から
青山 薫
神戸大学国際文化学研究所

SY6-3 トランスジェンダーとセックスワー
ク、セクシュアルヘルスに関する調
査結果
金子典代
名古屋市立大学大学院看護学研究科

■コメンテーター：

貞升健志
東京都健康安全研究センター微生物部

宮階真紀
SWASH/MASH 大阪

シンポジウム

■日時：11月28日（木） 17:20 ～ 18:50

■会場：第2会場（4F 錦）

シンポジウム 7 (臨・C)	HIV 感染血友病患者における併存疾患や合併症の早期発見と予防的取り組み	座長 遠藤知之（北海道大学病院血液内科 / HIV 診療支援センター） 上村 悠（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）
-------------------	--------------------------------------	---

■演者：

SY7-1	HIV 感染血友病における慢性疾患の現状と今後の課題 照屋勝治 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	SY7-3	HIV 感染血友病患者における口腔衛生状態や歯科受診、セルフケアの実態と課題 高鍋雄亮 国立国際医療研究センター歯科・口腔外科
SY7-2	悪性腫瘍の早期発見に向けてー SVR 後の肝臓に要注意 古賀道子 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 / 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科	SY7-4	HIV 感染血友病患者への情報収集シートの活用による予防的取り組み ～患者参加型医療の実践について看護師の活動より～ 大金美和 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：11月29日（金） 14:30 ～ 16:00

■会場：第4会場（4F 花A）

シンポジウム 8 (基・B)	Host response vs pathogen escape - 宿主応答 vs 病原体エスケープ -	座長 山岸 誠（東京大学大学院新領域創成科学研究科） 山本浩之（国立感染症研究所エイズ研究センター）
-------------------	---	---

■演者：

SY8-1	ヘルペスウイルスと宿主応答との攻防 有井 潤 神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野	SY8-2	細胞内寄生細菌への宿主免疫応答とその抑制 / 回避 阿戸 学 国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部
-------	---	-------	---

シンポジウム

■日時：11月29日（金） 16:10～17:40

■会場：第4会場（4F 花A）

シンポジウム 9

（臨・C /
基・B /
社・S）

日本におけるPrEPの普及と実装
の課題 3分野から

座長

生島 嗣（認定NPO法人ぷれいす東京）
村松 崇（東京医科大学病院臨床検査医学科）

■演者：

SY9-1

菊地 正
国立感染症研究所エイズ研究センター

SY9-2

池田詩子
宮の森レディースクリニック

SY9-3

太田ふとし
やろっこ

■日時：11月29日（金） 16:40～18:10

■会場：第2会場（4F 錦）

シンポジウム 10

（臨・C）

欧州エイズ学会(EACS)との共同
企画
-EACS LIVE! Interactive case-
based discussion-

座長

今橋真弓（名古屋医療センター臨床研究センター
感染・免疫研究部）
福島一彰（がん・感染症センター都立駒込病院）

■パネリスト：

Esteban Martinez
Hospital Clinic & University of Barcelona

Annette Haberl
Hospital of the Johann Wolfgang Goethe
University Frankfurt, Department of Infectious
Diseases | HIV CENTER

■演者：

SY10-1

症例 1
吉田恭子
がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

SY10-2

症例 2
池内和彦
東京大学医学部附属病院感染症内科

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

■日時：11月30日（土） 8:20 ～ 9:50

■会場：第2会場（4F 錦）

シンポジウム 11 （基・B）

What has been unveiled
-描かれた顔-

座長 齊藤 暁（宮崎大学農学部獣医学科）
池田輝政（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センター）

■演者：

SY11-1 ウイルスが増えるということ、増えないということ
塩田達雄
大阪大学微生物病研究所

SY11-2 コレセプター研究が HIV の基礎研究・
臨床にもたらしたもの
前田洋助
吉備国際大学看護学部看護学科 /
熊本大学生命科学研究部微生物学講座

SY11-3 HIV Env/Gag 相互作用、コレセプ
ター阻害剤、ペプチド性阻害剤につ
いてわかったこと
村上 努
国立感染症研究所

SY11-4 HIV-1 の生存戦略と計算科学
佐藤裕徳
元国立感染症研究所（現客員研究員）

■日時：11月30日（土） 10:00 ～ 11:30

■会場：第1会場（5F エミネンス）

シンポジウム 12 （臨・C）

時代と共に変化する看護師の役
割ー普遍的な HIV 看護とはー

座長 渡部恵子（北海道大学病院）
佐々木晃子（国立病院機構仙台医療センター）

■演者：

SY12-1 慢性疾患看護でたいせつにしたい考
え方
谷本真理子
東京医療保健大学医療保健学部看護学科・医療保健学
研究科

SY12-2 時代の移り変わりからみる HIV 看護
東 政美
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

SY12-3 私が考える HIV 看護
一患者との関わりを振り返って見え
てきたことー
稗田広美
北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院

国際シンポジウム

■日時：11月29日（金） 8:20 ～ 10:20

■会場：第1会場（5F エミネンス）

国際
シンポジウム
（国・I）

Special Symposium on
Community-led Monitoring of
HIV services

座長 /Chair 稲場雅紀（特定非営利活動法人
ディスカッサント / アフリカ日本協議会）
Discussant Masaki Inaba（Africa Japan Forum）

< Presentations >

■演者 /Speakers：

ISY-1 Keynote Speech

Polin Ung

Joint United Nations Programme on HIV/AIDS
(UNAIDS)

ISY-2 Vuyiseka Dubula

The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and
Malaria

ISY-3

Rena Janamnuysook

Tangerine Clinic, Institute of HIV Research and
Innovation (IHRI)

ISY-4

Myagmardorj Dorjgotov

Youth for Health Center NGO

< Panel Discussion >

■司会 /Moderator：

田沼順子

国際医療福祉大学医学部

Junko Tanuma

International University of Health and Welfare

■ディスカッサント /Discussants：

山下織江

日本医療政策機構

Orie Yamashita

Health and Global Policy Institute (HGPI)

金子典代

名古屋市立大学大学院看護学研究科

Noriyo Kaneko

Graduate School of Nursing, Nagoya City
University

< Closing remark >

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

Kota Iwahashi

NPO akta

協力：公益財団法人日本国際交流センター /
グローバルファンド日本委員会

ポジティブトークセッション

■日時：11月28日（木） 16:10～17:40

■会場：第3会場（4F 扇）

ポジティブ
トーク
セッション

POSITIVE TALK 2024

座長

高久陽介（NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワー
ク・ジャンププラス）
岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta）

■スピーカー：

かみちゃん
勝水健吾
shin
中野栄二
星 竜也

メモリアルサービス

■日時：11月28日（木） 17:40～18:40

■会場：第3会場（4F 扇）

メモリアル
サービス

第14回 世界エイズデー メモリアル サービス～生命(いのち)をつなぐ～

■企画者：有志

日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：11月30日（土） 10:00 ～ 11:30

■会場：第3会場（4F 扇）

日本エイズ学会 認定講習会 （医師） （臨・C）	PLWHにおける悪性腫瘍	座長 古賀道子（東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野） 遠藤知之（北海道大学病院血液内科 / HIV 診療支援センター）
---	---------------------	--

■演者：

TR2-1	PLWH の悪性腫瘍の現状と問題点 照屋勝治 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	TR2-3	PLWH で問題となる悪性腫瘍 3) 肛門癌 北村 浩 石神井公園駅前えんじゅ内科クリニック / 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
TR2-2	カポジ肉腫および HHV-8 関連疾患の診療マネジメント 矢嶋敬史郎 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院		

日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：11月30日（土） 8:20 ～ 9:50

■会場：第3会場（4F 扇）

日本エイズ学会 認定講習会 （看護師） （臨・C）	HIV 感染症患者のサポート形成支援（人的支援） ー長期療養における他者への病名の打ち明け支援について考えるー	座長 前田サオリ（琉球大学病院） 渡部恵子（北海道大学病院）
--	--	---

■企画担当：

TR3-1	向井三穂子 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	TR3-3	前田サオリ 琉球大学病院
TR3-2	中村美保 高知大学医学部附属病院	TR3-4	渡部恵子 北海道大学病院

アドバンスト研修

■日時：11月28日（木） 15:20 ～ 16:50

■会場：第4会場（4F 花A）

アドバンスト研修 （臨・C）	事例で考えるHIV感染者の 包括ケア ～ HIV陽性者の高齢化に向けた 包括的支援の検討～	座長 犬丸真司（NHO 九州医療センター） 羽柴知恵子（NHO 名古屋医療センター）
-------------------	--	---

■演者：

TR4-1 徳山麻里子
杏林大学医学部付属病院

■企画担当：

TR4-2 犬丸真司
NHO 九州医療センター

TR4-3 羽柴知恵子
NHO 名古屋医療センター

TR4-4 関矢早苗
がん・感染症センター都立駒込病院

TR4-5 徳山麻里子
杏林大学医学部付属病院

TR4-6 大金美和
国立国際医療研究センター

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11月28日（木） 17:10 ～ 19:10

■会場：第4会場（4F 花A）

HIV 感染症薬物 療法認定・専門 薬剤師認定講習会 （臨・C）	PLWHのQOL向上＝ HIV専門・認定薬剤師×□ ～□に当てはまる「資格」を 答えよ～	座長 戸矢崎信也（株式会社カムシティ戸山薬局） 畝井浩子（T&T タウンファーマ株式会社）
---	---	--

■演者：

TR5-1 □＝腎臓病療養指導士
～ PLWH の腎臓を守るために～
戸矢崎信也
株式会社カムシティ戸山薬局

TR5-2 □＝外来がん治療専門薬剤師
（BPACC）～外来化学療法もサポ
ートします！～
田橋美佳
薬樹薬局三ツ沢

TR5-3 □＝在宅緩和ケア対応薬局
～トータルペインへの支援～
小川和彦
一般財団法人緑風会緑風会薬局

TR5-4 □＝精神科薬物療法認定薬剤師（取
得予定）メンタルヘルスサポートに
ついて
島田淳史
スエヤス調剤薬局文京店

市民公開講座

■日時：11月30日（土） 13:40 ～ 15:10

■会場：第3会場（4F 扇）

市民公開講座

エイズ・性教育再考
～伝えるむずかしさ～

司会

岩室紳也（ヘルスプロモーション推進センター /
HIV/AIDS 診療医）

■パネリスト：

高久陽介

NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププ
ラス代表理事

清水美春

びわこんどーむプロジェクト代表：コンドーム伝道師 /
元高校保健体育科教諭

高橋幸子

埼玉医科大学医療人育成支援センター / 産婦人科医

■日時：11月30日（土） 13:40 ～ 15:10

■会場：第4会場（4F 花A）

市民公開講座

HIV/AIDS
ごちゃまぜトークセッション
すべての垣根を越えた先に見える
未来

座長

岡本 学（独立行政法人
国立病院機構 大阪医療センター）
＜医療ソーシャルワーカー ゲイ＞
荒木 順／ジャンジ（特定非営利活動法人 akta）
＜コミュニティワーカー
アーティスト＞

■演者：

奥井裕斗

＜ HIV と共に生活する新宿区民＞

後藤正善

一般社団法人アプローズ
＜薬害エイズ被害者の HIV 陽性者＞

岡本 学

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
＜医療ソーシャルワーカー ゲイ＞

薬師実芳

認定特定非営利活動法人 ReBit
＜トランスジェンダーのソーシャルワーカー＞

共催シンポジウム

■日時：11月28日（木） 10:10～12:10

■会場：第1会場（5F エミネンス）

共催 シンポジウム 1 （社・S）

HIV/エイズの流行終結に向けた
取り組み

座長

白阪琢磨（公益財団法人エイズ予防財団 / 国立
病院機構大阪医療センター）
杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究
センター）

■演者：

- SS1-1 Efforts toward Ending the HIV
Epidemic in Taiwan
Chien-Ching Hung
National Taiwan University Hospital
- SS1-2 HIV 流行終結に向けたコミュニティ
主導の取り組み
岩橋恒太
特定非営利活動法人 akta
- SS1-3 HIV 流行終結に向けた医療者側の取
り組み
今橋真弓
国立病院機構名古屋医療センター

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

■日時：11月28日（木） 13:30～15:30

■会場：第2会場（4F 錦）

共催 シンポジウム 2 （臨・C）

The Value of LA treatment
持効性注射剤から得られたこれま
での学びと、PLHIVのための今後
の位置づけ

座長

仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科）
村松 崇（東京医科大学臨床検査医学分野）

■演者：

- SS2-1 仲村秀太
琉球大学大学院医学研究科
- SS2-2 吉永智一
塩野義製薬株式会社創薬疾患研究所
- SS2-3 青木孝弘
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン
ター
- SS2-4 Chloe Orkin
Queen Mary University of London
- SS2-5 村松 崇
東京医科大学臨床検査医学分野

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社 /
塩野義製薬株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月28日（木） 13:30 ～ 15:30

■会場：第3会場（4F 扇）

共催 シンポジウム 3 （臨・C）

シームレスなPLWH支援を考
える～薬剤師はどうバトンをつなぐ
か？～

座長 関根祐介（東京医科大学病院薬剤部）

■演者：

SS3-1 PLWH の治療長期化における課題
～薬剤師のバトンが必要とされるとき～

松木克仁

名古屋医療センター薬剤部

SS3-2 シームレスな PLWH 支援における薬
局薬剤師の役割と連携のポイント

戸矢崎信也

戸山薬局

SS3-3 拠点病院における薬剤師の役割と連
携のポイント

石井聡一郎

広島大学病院薬剤部

共催：MSD 株式会社

■日時：11月28日（木） 19:30 ～ 21:00

■会場：第6会場（別会場）

共催 シンポジウム 4 （社・S）

HIV 陽性者が直面する社会的障壁
の解消に向けて

座長 生島 嗣（認定特定非営利活動法人
ぷれいす東京）

■ overview：

小吹文紀

武庫川女子大学 / パートナー共済

SS4-3

住宅購入における課題

須藤啓光

株式会社 IRIS

■演者：

SS4-1 就職・転職における課題

星 賢人

株式会社 JobRainbow

SS4-4

民間保険加入における課題

小吹文貴

パートナー共済 / 株式会社 R&C

SS4-2 就業・人事制度における課題

堀川 歩

株式会社アカルク

SS4-5

「選びとる家族」と家族法の再構築：
90 年代以降の英米の家族法哲学の展
開に寄せて

松田和樹

中央大学日本比較法研究所

共催：パートナー共済

共催シンポジウム

■日時：11月29日（金） 8:20 ～ 10:20

■会場：第2会場（4F 錦）

共催 シンポジウム 5 （臨・C）

将来を見据えた抗HIV治療のあり方～2剤レジメンの可能性～

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）

■演者：

SS5-1

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院

SS5-3

Chien-Yu Cheng

Taoyuan General Hospital Department of Infectious Diseases

SS5-2

照屋勝治

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

SS5-4

福岡里紗

大阪市立総合医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社 /
塩野義製薬株式会社

■日時：11月29日（金） 8:20 ～ 10:20

■会場：第3会場（4F 扇）

共催 シンポジウム 6 （臨・C）

HIV感染症とPremature Aging

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

座長 岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター / 国立療養所多磨全生園）

■演者：

SS6-1

HIV 陽性者の Premature Aging
～腎障害や透析への備え～

遠藤知之

北海道大学病院血液内科 / HIV 診療支援センター

SS6-2

HIV 診療における糖尿病・心血管疾患

村松 崇

東京医科大学臨床検査医学分野

SS6-3

糖尿病治療 Up to Date2024

目黒 周

慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科

共催：MSD 株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月29日（金） 14:30～16:30

■会場：第1会場（5F エミネンス）

共催
シンポジウム 7
（臨・C /
基・B /
社・S）

HIV-1 感染症の根治に向けて－4
－ HIV リザーバー、君たちはどう
考えるか－

座長

吉村和久（東京都健康安全研究センター）
石田尚臣（デンカ株式会社）

■演者：

SS7-1

若手医師としての視点から - 臨床の
現場において直面している治療の現
状や課題感など -

川島 亮

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

SS7-3

HIV 感染症の治療を目指して

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

SS7-2

いま HIV 感染症の根治治療導入がな
されとした場合の HIV 陽性者らの
準備状況、及び根治可能になった後
に残る課題

井上洋士

HIV Futures Japan プロジェクト /
株式会社アクセライト

SS7-4

リザーバー測定に関する up-to-date
情報

佐藤賢文

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

共催：デンカ株式会社

■日時：11月29日（金） 14:30～16:30

■会場：第2会場（4F 錦）

共催
シンポジウム 8
（臨・C）

HIVとエイジングー併存疾患の早
期発見とマネジメント
HIV and Aging - Early
Detection and Management
of Comorbidities

座長

瀧永博之（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

SS8-1

Chloe Orkin

Queen Mary University of London

SS8-2

木内 英

東京医科大学

SS8-3

Ana Milinkovic

ViiV Healthcare, London

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月29日（金） 14:30 ～ 16:00

■会場：第3会場（4F 扇）

共催
シンポジウム 9
（臨・C）

HIV陽性者のワクチン接種
における課題

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究
センター）

■演者：

SS9-1 照屋勝治
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

SS9-2 佐藤昭裕
KARADA 内科クリニック五反田院

SS9-3 谷口俊文
千葉大学医学部附属病院感染症内科

共催：MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

■日時：11月30日（土） 8:20 ～ 10:20

■会場：第4会場（4F 花A）

共催
シンポジウム 10
（臨・C /
社・S）

医療者・陽性者・社会の視点から見
たLong-Term Successへのアプ
ローチ

座長 松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センター）
渦永博之（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

SS10-1 LTS 達成に向けた治療戦略
渦永博之
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

SS10-2 陽性者調査からひも解く LTS 達成に
むけて残された課題
高久陽介
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャ
ンププラス

SS10-3 日本における HIV を取り巻くステイ
グマの現在地
井上洋士
株式会社アクセライト

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

共催シンポジウム

■日時：11月30日（土） 10:00 ～ 11:30

■会場：第2会場（4F 錦）

共催 シンポジウム 11 （社・S）	Empowering a Patient- Centred Future for PLHIV: Their Voice, their choice	座長 大島 岳（明治大学情報コミュニケーション学部）
--------------------------	---	----------------------------

■演者：

SS11-1

大島 岳

明治大学情報コミュニケーション学部

SS11-3

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

SS11-2

Ana Milinkovic

ViiV Healthcare, London

SS11-4

けいた

特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月28日（木） 12:20 ～ 13:20

■会場：第2会場（4F 錦）

ランチョン セミナー 1

時代とともに変わりゆく HIV 感染
合併血友病患者の問題点とその対
策

座長

上村 悠（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

LS1

遠藤知之

北海道大学病院血液内科 / HIV 診療支援センター

共催：中外製薬株式会社

■日時：11月28日（木） 12:20 ～ 13:20

■会場：第3会場（4F 扇）

ランチョン セミナー 2

PWHが求める Long-Term
Success (LTS) を満たす治療とは

座長

谷口俊文（千葉大学医学部附属病院感染制御部・
感染症内科）

■演者：

LS2-1

LTS 達成に向けた HIV/HBV 共感染
に対する TAF を含む治療戦略

村松 崇

東京医科大学臨床検査医学分野

LS2-2

日常診療における U=U の重要性

-U=U 達成のために期待される ART
とは？ -

仲村秀太

琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内
科学講座

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：11月28日（木） 12:20 ～ 13:20

■会場：第5会場（3F グレースルーム）

ランチョン セミナー 3

長期療養支援について考える～新
たな社会の構築を目指して～

座長

三嶋一輝（福井大学医学部附属病院）
高橋昌也（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

LS3-1

長期療養を支えるコミュニケーショ
ンサービス

河村雄一郎

セコム株式会社セキュリティ事業推進室

LS3-3

地域支援者と拠点病院との連携、相
互理解の促進

南 留美

九州医療センター

LS3-2

市民主導の防窮アプリケーションと
支援者の連携による「見落とされ」
解消への取り組み

白取耕一郎

大谷大学

共催：セコム医療システム株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月29日（金） 11:40～12:40

■会場：第2会場（4F 錦）

ランチョン セミナー 4

なぜ注射剤を選ぶのか？
～当院でのボカブリア+リカムビ
スの使用経験を踏まえた患者さん
への説明の工夫～

座長 木内 英（東京医科大学病院臨床検査医学科）

■演者：

LS4-1

木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

LS4-2

山中 晃

新宿東口クリニック

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社 /
塩野義製薬株式会社

■日時：11月29日（金） 11:40～12:40

■会場：第3会場（4F 扇）

ランチョン セミナー 5

透析導入ゼロを目指して－PLWH
の腎機能を考慮した個別化治療－

座長 潟永博之（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

LS5-1

長期療養時代の PLWH における腎機
能管理の重要性～薬剤師の視点から～
矢倉裕輝

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究
センターエイズ先端医療研究部 / 薬剤部

LS5-2

PLWH の腎保護のためのマネジメント
南 留美

独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/
HIV 総合治療センター

共催：MSD 株式会社

■日時：11月29日（金） 11:40～12:40

■会場：第4会場（4F 花A）

ランチョン セミナー 6

今日からの未来のために
-血友病診療 2024-

座長 高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液内科
学）

■演者：

LS6

近澤悠志

東京医科大学臨床検査医学分野

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月30日（土） 12:20 ～ 13:20

■会場：第1会場（5F エミネンス）

ランチョン セミナー 7

将来に向けた耐性への挑戦と、
その解決案の新展開

座長

潟永博之（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

■演者：

LS7

岐路に立つ HIV 治療 -TAF を巡る
HIV 治療の未来展望
木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：11月30日（土） 12:20 ～ 13:20

■会場：第4会場（4F 花A）

ランチョン セミナー 8

薬害 HIV 感染血友病患者のエイジ
ングケア

座長

西田恭治（独立行政法人国立病院機構大阪医療
センター血友病科 / 感染症内科）

■演者：

LS8

上村 悠

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン
ター

共催：武田薬品工業株式会社